

2 一般研修

① 教科等研修講座

小学校教科等研修講座(国語科)

教科等指導員 伊丹小学校 教諭 佐古 賢一

担当指導主事：八束 伸明

キーワード：問題解決的な学習 単元構想 教材開発 クロスカリキュラム ICT活用

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題(またはテーマ)
1月12日(火)	関西大学初等部 西 勝巳 教諭	伊丹小学校5年1組教室 研究授業 授業研究協議会	「意見広告をつくろう(第5学年)」

2 主な内容

(1) 研究授業「意見広告をつくろう(第5学年)」

問題解決的な学習の導入として、多様な広告に出会い、自分たちが伝えたいことを意見広告にして表現しようと試みる姿をめざした授業を公開した。

① 新たな教材の開発

授業づくりのアプローチとして、社会の中にある多様なテキストを教材化した実践例を示すことを心がけた。今回の研究授業では、各広告大賞の受賞作を中心に、キャッチコピーと画像の組み合わせによって読み手に強い印象を残す広告を提示し、その共通点を探る活動を展開した。また校区内で実施された「伊丹西台ポスター展」の作品を使用することで、地域教材を活用した実践の可能性を提案した。

② 他教科等と連動した単元構想

国語科で培った能力を活用する場を設けられるよう、他教科等の単元と連動した単元構想の可能性を示すようにした。具体的には、社会科の「わたしたちの暮らしを支える情報」の単元を通して得た、情報社会に対する社会的認識を表現する手段として意見広告を位置づけ、国語科の学習を、意見広告づくりの技能を培う場とした。

(2) 授業研究協議会

① 授業者による単元構想の説明

授業者から、研究授業の概要や本時のねらい、反省点について説明を行ったのち、参会者による研究討議を行った。参会者からは、提示する教材の焦点化や、子どもの興味・関心をひく教材のあり方、導入としての本時の位置づけについての意見が出るとともに、地域教材として提示した「伊丹西台ポスター展」の作品のもつ教育的価値について討議した。

② 指導助言

講師である関西大学初等部の西 勝巳教諭から、指導助言を頂いた。多様なテキストと教科書教材とを組み合わせた単元構想について一定の評価があった一方で、提示する広告の精選や、導入としての本時の学習活動の妥当性について助言を頂いた。



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 他教科と連動した授業づくりや新たな教材を用いた実践を具体的に示すことができた。
- ② 導入場面を公開することで、問題解決的な学習の導入のあり方を議論する場を設けられた。

(2) 課題

多くの実例を示すことに主眼を置くあまり、授業における教材や活動の精選が不十分だった。